

平成28年度 事業報告

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

I 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

(1) 役員

理事会	事業推進執行機関	会長1名・副会長3名・常務理事1名・理事11名
監事	事業・会計監査	学識経験者1名・税理士1名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等34名

(2) 職員

事務局長兼常務理事	1名	居宅介護支援事業所長・訪問介護事業所長
事務局	10名	正規5名・嘱託5名
居宅介護支援事業所	7名	ケアマネージャー(正規3名・嘱託4名)
訪問介護事業所	22名	ホームヘルパー(正規3名・嘱託1名・パート18名)
おかや総合福祉センター	8名	館長(嘱託1名)・事務員兼業務員(嘱託3名・臨時4名)
ひだまりの家	6名	所長(嘱託1名)・指導員(正規1名・嘱託1名・臨時3名)
生きがいづくりデイサービス	3名	援助員(臨時3名)
結婚相談所	2名	結婚相談員(臨時2名)
日常生活自立支援事業	13名	生活支援員(臨時13名)
合計	72名	

II 主たる事業・会議等の開催

月	日	説明	月	日	説明	
4月	15日	定例正副会長会(月1回)	7月	9日	社協会費収納開始(7/1~8/30)	
	22日	ブロック社協局長・次長会議		13日	ハートリーフ	
5月	9日	地区社協役員研修会		25日	正副会長会	
		手話奉仕員養成講座(全41回)		27日	生きがいデイサービス	
	19日	監査会			ボランティアリーダー養成研修(全6回)	
	23日	正副会長会		30日	岡谷市社会福祉大会(カノラホール)	
	25日	朗読講座(全5回)		8月	14日	ふれあいおどり連
	28日	こども福祉教室開講式(全9回)			24日	正副会長会
6月	19日	理事会・評議員会		31日	ブロック社協局長・次長会議	
		社会福祉推進校連絡会議		9月	8日	育児ファミリーサポートセンター
	15日	おかや総合福祉センター防災訓練	14日		提供会員研修会(全6回)	
	16日	会費収納説明会	20日		長野県社会福祉大会(長野市)	
	18日	手話奉仕員フォローアップ講座(全10回)			共同募金説明会	
	22日	正副会長会			正副会長会	
		ブロック社協総会				
		共同募金審査委員会				
27日	岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会					
	共同募金運営委員会					
	理事会					

10月	1日 18日 22日 29日	共同募金運動開始(10/1~12/31) ふれあいの集い(ぶどう狩り) 正副会長会 福祉バザー ふれあい祭り&ボランティア祭り	1月	12日 17日 23日 25日 27日 ~31日	正副会長会 理事会・評議員会 ブロック社協役員研修会 障がいを理解するための学習会 ながの銀嶺国体アイスホッケー競技会 市民ボランティア
11月	5日 8日 10・11日 16日 25日 26日	ハートリーフ 家庭介護者の集い 岐阜県恵那市視察研修 おかや総合福祉センター防災訓練 正副会長会 ブロックボランティア交流研究集会 手話通訳者フォローアップ講座(全5回)	2月	22日 23日 24日	正副会長会 家庭介護者の集い ブロック社協局長・次長会議
	21日 27日	正副会長会 法律相談	3月	21日 23日 28日 29日 30日	共同募金審査会 正副会長会 法律相談 理事会・評議員会 評議員選任・解任委員会

III 事業の実施報告

第3次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりました。計画に掲げた4つの基本目標に沿って事業実施の報告をいたします。

基本目標1 地域福祉活動の輪を広げる

(1) 福祉意識の普及

様々な事業を通じ、また各種媒体を活用し、市内全体に福祉意識を広げた。

①岡谷市社会福祉大会の開催 7月30日(土) カノラホール大ホール

総合テーマ	みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)		
内容	講演	「～認知症予防のために～ 脳を鍛える活脳トレーニング」	
	講師	篠原 菊紀 氏 諏訪東京理科大共通教育センター教授	
表彰	市社協会長表彰	社会福祉事業特別功労者	23個人
		社会福祉事業協助者	2団体
		褒賞	5個人・3団体
		感謝状	5個人・4団体
	共同募金会岡谷市支会会長表彰		
		感謝状	8団体
		東日本大震災義援金感謝状	1団体

地域福祉の担い手であり、主役である住民の皆さんが、地域で健康でいきいきと暮らし、活躍されることを願うとともに、福祉に対する意識の高揚を図り、約600名の参加をいただき開催した。

②長野県社会福祉大会への参加 9月14日(水) 長野市芸術館

内容	住民支え合い活動実践報告
	講演 「人生は8合目からがおもしろい」
	講師 田部井 淳子 氏

③ 社協だより「ゆめ」の発行 年12回・全戸配布 事業、活動、福祉情報、ボランティア情報等掲載

④ 地区社協だよりの発行 14地区 地域住民に地区社協活動を周知、理解協力及び福祉活動への参加促進を図った。

⑤ 新聞等報道機関の協力

⑥ 福祉教材の貸出 学校に福祉体験用として、各教材の貸出しを行った。

高齢者疑似体験セット	長地小学校・東部中学校・平成会
車いす	小井川小学校・東部中学校・岡谷東高校
点字器	小井川小学校・長地小学校・東部中学校
アイマスク	東部中学校

- ⑦ 各種体験学習会、福祉学習会の開催
 学校、保育園等に講師として出向き、車いす・アイマスク・手話・点字・高齢者疑似体験学習会を行った。
 また地域のゲストティーチャーとして、視覚・聴覚障がい者や点字・手話サークルの皆さんに協力をお願いし、指導していただいた。
 湊小学校、岡谷東高校、東堀保育園
- ⑧ こども福祉教室の開催 9回シリーズ 参加者21名
 市内の小学3年生から6年生を対象に、様々な学習、体験を通じて、小さな頃から福祉に関心をもってもらうことを目的に開催。内容をボランティアスタッフと共に企画し、楽しみながらも学べるプログラムになるよう工夫した。
 学校や学年を超えた交流や、普段なかなか接する機会が少ない貴重な体験を通じて、こどもたちが大きく成長した姿を見ることができた。
- ⑨ 社会福祉推進校事業の推進
 小中高14校（全校）を社会福祉推進校に指定し、活動への助言指導とともに、活動費の助成を行った。
- ⑩ ボランティア活動体験事業 サマーチャレンジ2016
 7月から8月の間に市内の各会場で、学生から社会人まで多くの方がボランティア体験をしていく中で、ボランティアへの関心をさらに深め、今後の活動へのステップとすることを目的として開催した。

実施期間	平成28年 7月25日(月)～ 8月31日(水)
参加者	中学生72名・高校生22名・大学生8名 (合計 102名)
実施施設	保育園(16) 高齢者施設等(4) 子育て支援館(1) 障がい者施設(1)

- ⑪ 親子福祉体験事業（こども福祉教室内で2回実施）

7年に1度の御柱年ということで、諏訪まちなか観光案内人協会から講師を招き、諏訪の歴史と御柱について講話を聴いた。2回目は、手話学習会として、実際にろうあの方に講師として参加してもらい、手話でのコミュニケーション等を親子で学んだ。

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア登録者数	総数	4,871名
内 訳	全市的ボランティアグループ	47グループ 3,302名
	企業ボランティアグループ	3グループ 487名
	地区社協ボランティアグループ	24グループ 1,051名
	個人ボランティア	31名

- ① ボランティア連絡協議会との連携強化 加入 団体19・個人17名
 ボランティア同士のつながりを更に深めることができ、ふれあい祭りや様々な活動につなげることができた。
 また、社協行事にも積極的に協力していただき、本当にありがたく感謝している。今後も更なる連携強化をしていきたい。
- ② 企業ボランティア活動振興事業
 施設等からのニーズに対し個々の対応をすることが出来た。今後、全体への定期的な情報発信方法について検討していきたい。
- ③ ボランティアコーディネート機能の充実・強化
 市内外施設へのボランティア紹介
 ボランティア希望者への情報提供
 同行訪問によるボランティアの紹介、対応
 ボランティアセンター管理、整備
 利用状況：15団体・個人 287回 1,760人
- ④ ボランティア等に対し地域福祉活動振興補助事業
 ボランティアの研修や活動に助成を行い、活動を支援した。
- ⑤ ボランティア登録、斡旋、相談事業の充実

- ⑥ ボランティア保険の普及、加入 加入者総数 1,687名

保険内容	加入者数
Bプラン(社協補助あり)	1,320
Aプラン(全額負担)	209
Aプラン(サマーチャレンジ参加者分)	101
天災Aプラン《災害ボランティア》(社協負担)	5

- ⑦ ボランティア総合相談
ボランティアに関する総合窓口として相談に応じ、活動しやすい環境づくりに努めた。
- ⑧ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金 9,478,066円
- ⑨ 6市町村手話奉仕員養成講座 41回シリーズ 修了者18名
諏訪6市町村の方対象として開催。
この講座修了者の中から、通訳者を目指す方もおり、聴覚障害者への理解に成果が見られた。
- ⑩ 手話奉仕員フォローアップ講座の開催 10回シリーズ 参加者17名
奉仕員養成講座修了者以上の方のレベルアップを図ることを目的に開催。県主催の通訳者養成講座へつなげている。
- ⑪ 手話通訳者フォローアップ講座の開催 5回シリーズ 参加者 5名
手話通訳者の通訳技術の向上を図ることを目的に開催。
- ⑫ 朗読講座の開催 5回シリーズ 参加者12名
- ⑬ ボランティア祭りの開催
ふれあい祭りと同時開催し、多くのボランティアにご協力いただき、盛大に開催することができた。年々来場者、新たに参加していただく団体も増えており、定着した行事となっている。
- ⑭ ながの銀嶺国体アイスホッケー会場市民ボランティア 参加者61名
高校生から80歳まで、幅広い年齢層の「市民ボランティア」が活動を行った。寒期中、活動を通じて、様々な収穫を得ることができたとの声が多かった。スポーツ×ボランティアという形は入りやすさがあるため、今後も企画していきたい。

(3) 地区社協への支援

- ① 地区社会福祉協議会の充実と活動の推進
- ② 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業） 325名
今井22名・間下22名・岡谷20名・下浜12名・小尾口6名・上浜18名・新屋敷9名・小口18名・小井川29名・西堀16名・小坂8名・花岡19名・三沢31名・新倉12名・駒沢5名・鮎沢5名・橋原6名・東堀30名・中屋18名・中村5名・横川14名
- ③ 地区地域福祉推進会議
各地区社会福祉協議会で開催 42回
- ④ 地区社協役員研修会の開催 5月9日
各地区社協役員対象に、地域福祉についての研修会を開催
地域福祉活動振興補助事業の説明
- ⑤ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ⑥ 地域福祉活動振興補助事業
地区社協で行う各事業に補助を行い、地域福祉活動の振興を図った。

(4) 社会参加への支援

- ① 地区主催「敬老事業」への助成 650万円
- ② 岡谷市高齢者クラブ連合会への支援
- ③ 高齢者の社会参加促進事業
「健康・友愛・奉仕」を基本精神とした各種活動への支援。

④ 障がい者地域生活支援事業等（市受託事業）

ア 手話通訳者設置

行事(スポーツ大会)での通訳	2回	福祉施設での学習会講師	2回
窓口での相談等	20回		

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣	19件	60.5時間(講演会等)	通訳者数	19名
要約筆記者派遣	5件	14.5時間(講演会等)	通訳者数	19名

ウ 声の広報発行事業 12回発行 11世帯利用

エ 生活訓練事業

オ 芸術・文化講座開催事業

カ スポーツ教室開催事業

キ スポーツ大会開催等

ク 福祉機器リサイクル事業 受付3件 成立1件
電動ベッド・ポータブルトイレ・シャワーチェア

⑤ 岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉推進
福祉バザー、ふれあいの集い、ふれあい祭り、障がいを理解するための学習会の開催、おどり連の太鼓祭り参加

(5) 福祉施設運営サービスの充実

① おかや総合福祉センター管理経営事業（市指定管理事業）

開館日数	温泉施設	308日	月平均	25.67日	
	生涯学習施設	348日	月平均	29.0日	
開館時間	温泉施設	10時～21時30分			
	生涯学習施設	9時～21時30分			
休館日	温泉施設	毎週水曜日			
	生涯学習施設	毎月第3水曜日			
入館者数	有料入館者	温泉施設	131,743名		
		大浴場	116,164名	リハビリ施設	13,130名
		福祉家族風呂	1,082件 2,449名		
		生涯学習施設	7,618団体		
	無料入館者	大浴場	16,383名		
		生涯学習施設	1,761団体		
		足湯	61,187名		
		ロビー・ヘルストロン等	155,866名		

こどもから高齢者まで、誰もが集い、憩い、交流することができるコミュニティスペースを目指した。大浴場、福祉風呂、温泉リハビリ施設の衛生管理に注力するとともに、生涯学習施設として研修室の利用増加を図った。

② 地域活動支援センター「ひだまりの家」管理運営事業（市受託事業）

開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	241日
定員	10名
延べ年間通所者数	731名
1日平均通所者数	3名
年間在籍通所者実数	12名(男性 1名 女性11名)
28年度新規通所者	9名(男性 0名 女性 9名)
28年度通所希望見学者	128名(年間)
行事等	ひだまり作業所と同時開催

27年8月よりスタートし新規利用者も増えてきている。利用希望者も大勢いるがスペースなどの面で工夫が必要になってきている。利用者の中には、家庭に閉じこもりがちだったが毎日通所できるようになったり、さらにB型の就労に通いはじめた方もいるなど成果もではじめています。

(6) 福祉活動の基盤整備

① 地域サポートセンター設置促進体制整備事業

ア 設置状況

西堀区	西堀区地域サポートセンター	平成14年度
東堀区	東堀区地域福祉支援センター	平成15年度
駒沢区	駒沢区地域福祉支援センター	平成16年度
小井川区	小井川区地域サポートセンター	平成16年度
三沢区	三沢区地域サポートセンター	平成18年度
今井区	今井区地域支援センター	平成18年度
花岡区	花岡区地域サポートセンター	平成18年度
岡谷区	岡谷区地域サポートセンター	平成19年度
間下区	間下区地域福祉活動支援センター	平成19年度
小尾口区	小尾口区地域サポートセンター	平成20年度
新屋敷区	新屋敷区地域サポートセンター	平成21年度
下浜区	下浜区地域サポートセンター	平成23年度
鮎沢区	鮎沢区地域サポートセンター	平成23年度
中村区	中村区地域サポートセンター	平成24年度
新倉区	新倉区地域サポートセンター	平成24年度
橋原区	橋原区地域サポートセンター	平成24年度
横川区	横川区地域サポートセンター	平成25年度
中屋区	ふれあい中屋活動センター	平成26年度
小坂区	小坂区サポートセンター	平成26年度

② 各種団体への助成

基本目標 2 福祉サービスの利用を促進する

(1) 情報提供の充実

- ① 社協だより「ゆめ」の発行（年12回 全戸配布/再掲）
- ② ホームページによる情報掲載
- ③ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ④ 新聞等報道機関の協力（再掲）
- ⑤ 福祉教材の貸出（再掲）

(2) サービスの提供

① 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）

相談件数	認知症高齢者 1,878件	知的障害者 875件	精神障害者 3,424件	合計 6,177件	
本年度契約件数	22名	本年度解約件数	12名	本年度実利用者数	99名
内(生活保護)	3名	内(生活保護)	2名	内(生活保護)	20名
内(下諏訪町)	7名	内(下諏訪町)	0名	内(下諏訪町)	21名
事業開始からの契約件数	253名	事業開始からの解約件数	155名		
専門員の訪問調査回数	延べ 75回（対象者 40名）				
生活支援員等の利用援助回数	延べ1,806回（対象者 100名）				

本事業への問い合わせ、相談件数は増加している。また、成年後見制度への移行件数も徐々に増えてきており、体制強化は大きな課題となっている。また、成年後見支援センター設立に向けた動きも出てきており、これからさらに進めていきたい。

② 金銭管理、財産保全サービス事業の推進（市社協単独事業）

契約件数	解約件数	実利用者数
2名	0名	11名

③ 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業／再掲）

(3) 福祉の相談窓口の充実

① 福祉総合相談

② 心配ごと相談事業

定例相談日数		243日		(毎週 月～金曜日)		8:30～17:15											
相談員				社協職員													
利用者数		19名		(男性5名・女性14名)													
取扱件数		59件															
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	教育・青少年	福祉	苦情	その他	
取扱件数	1	2	0	1	21	0	0	5	22	1	1	0	0	2	0	3	59
処理状況	解決				1				21							1	23
	再来				20			2									22
	民生委員																0
	他機関				1			2		1				1		1	6
	その他	1	2						1	1		1			1		1

③ ふれあいおしゃべり電話 月曜～金曜日 8:30～17:15

④ 法律相談

開設日	平成28年12月27日(火)	相談件数	4件
担当弁護士	宮坂大吾法律事務所 宮坂 大吾 弁護士		

本年度2回の開催を予定したが、3月の開催では予約者が無く開催にいたらなかった。岡谷市の法律相談と連携を図り開催日の設定や、緊急の個別相談の対応など、方法についても検討が必要である。

⑤ 結婚相談事業

99日開所		毎週火曜日、第1・3土曜日、第2・4木曜日(夜間相談日)				前年比
平均相談数		火曜日	木曜日	土曜日	1日あたり	
内	男性	0.5	0.9	0.8	0.7	0.1名増
	女性	0.3	0.5	1.0	0.5	前年同
訳	親族	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1名減
	合計	1.0	1.6	2.2	1.4	0.1名増
相談者数(来所者)		男性(本人) 65名		女性(本人) 50名		計 138名
		親・親族等 23名				
電話相談		402件				
登録者数(3/31現在)		男性 41名		女性 27名		計 68名
						5名減
お見合い件数		19件		カップル成立		2組
						2組減

他の公的な相談所と連携するなど、積極的にお見合いを進めてきたため、お見合い件数は増加したものの、あまり成果が得られなかった。登録者の意識改革などの研修開催なども必要と思われる。

⑥ ながの結婚マッチングシステム

システム登録者数(3/31現在)	男性	2名	マッチング依頼件数	26件	システムによるお見合い件数	4件
	女性	4名				

マッチングシステムの影響により市外の登録者が増加している。また女性登録者が増えたことにより他市町村からのマッチング依頼、お見合い件数も増加している。

⑦ ハートリーフ事業

開催日	場所・内容	参加者	カップル成立
平成28年7月9日(土)	岡谷がぶ飲みワイン食堂eieioh	男性 10名 女性 9名	3組
平成28年11月5日(土)	居酒屋かね吉	男性 7名 女性 6名	0組

昨年度に引き続き、飲み会形式のパーティーを企画した。第1回目では3組のカップリングが成立。第2回目は男性が40歳代限定での開催だったためか、落ち着いた雰囲気でのパーティーとなったが、カップリングの成立はなかった。第3回目はクリスマスイベントを企画したが、女性の参加者が少なすぎたため、開催中止となった。

女性参加者の確保は、依然大きな課題であり、更に工夫が必要であると感じている。

- ⑧ ボランティア総合相談
- ⑨ 家庭介護相談

(4) サービスの質の向上

- ① 苦情解決の対応
- ② 第三者委員の設置
- ③ 介護事業所別の相談・苦情対応
- ④ 職員の資質向上のための研修会等への参加

基本目標 3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるようにする

(1) 高齢者・障がい者在宅サービスの充実

- ① 生きがいデイサービス事業（市受託事業）
 援助員91名(内地区活動援助員87名：今井区12名・間下区15名・岡谷区13名・小尾口区1名・西堀区9名・駒沢区4名・橋原区9名・中村区6名・小口区1名・三沢区2名・東堀区7名・小井川区8名)

名 称	会 場	参加人員	グループ数	延回数
いきいきデイいまい	今井区公会所 今井区民センター 下今井公会所	43名(男7名・女36名)	4グループ	96回
いきいきデイ間下	間下区民センター	36名(男0名・女36名)	4グループ	93回
いきいきデイおかや	岡谷区公会所	32名(男1名・女31名)	3グループ	65回
すこやかデイ下浜	下浜区民センター	5名(男0名・女5名)	1グループ	24回
いきいきデイ小尾口	小尾口区公民館	7名(男0名・女7名)	1グループ	24回
いきいきデイ上浜	上浜公民館	12名(男0名・女12名)	2グループ	48回
いきいきデイあらやしき	新屋敷会館	14名(男4名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイおぐち	小口区民センター	17名(男0名・女17名)	2グループ	48回
いきいきデイ小井川	小井川区民会館	56名(男1名・女55名)	4グループ	120回
いきいきデイ西堀	西堀公会所	208名(男63名・女145名)	14グループ	331回
ふれあいプラザみなと	ふれあいプラザみなと	15名(男0名・女15名)	2グループ	48回
いきいきデイつるみね	三沢区コミュニティ施設	17名(男0名・女17名)	2グループ	48回
いきいきデイ新倉	新倉区公会所 夏明公会所	27名(男3名・女24名)	3グループ	72回
いきいきデイ駒沢	駒沢区公民館 荻山会館	19名(男0名・女19名)	2グループ	48回
いきいきデイ鮎沢	鮎沢区公民館	12名(男2名・女10名)	1グループ	22回
いきいきデイ橋原	橋原公会所	13名(男3名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイしばみや	柴宮館 東堀コミュニティ会館	67名(男33名・女34名)	5グループ	107回
いきいきデイ中村	中村区民センター	28名(男0名・女28名)	3グループ	70回
いきいきデイ横川	横川公会堂	26名(男0名・女26名)	3グループ	68回

新たに小井川区で地区活動援助員が活動を開始した。参加者の減少が課題となっている地区がある一方で、参加者増、グループを増やした地区もあり、東堀区では、男性のみのグループが新たに立ち上がった。今後も各区、行政とも連携して、より参加しやすい形で事業を進めていきたい。

- ② 有償在宅福祉サービス（家事援助）事業

サービスの種別	登録協力会員	登録利用会員	対応延回数	総 時 間
家事援助サービス	10名	21名	337回	393時間

会員相互の助けあいの仕組みとして、家事援助(買い物、掃除等)を行った。

- ③ 車いす移送車有償運送事業 3台使用 運転者登録 7人 利用者 13人 391回
- ④ 岡谷市いきいき生活支援サービス事業（ホームヘルプサービス/市受託事業）
 - ア 介護予防生活支援サービス（未認定対象）
 - イ 重症化予防生活支援サービス（要支援認定以上対象）

⑤ 安否確認（目くばり・気くばり）事業

⑥ ふれあいの仲間づくり事業

配食等宅配サービス事業 今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・新屋敷・小口・西堀・小坂・花岡・三沢・ 新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
会食会・料理教室 今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・上浜・新屋敷・小口・小井川・西堀・小坂・ 三沢・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
デイケアサービス事業 新屋敷・小口・小井川
ふれあいの集い・青少年ふれあい育成事業 岡谷・上浜・小口・西堀・小坂・橋原

⑦ ふれあいいきいきサロン事業

実施グループ数	実施延べ回数	参加延人数
15グループ	387回	5,156名

⑧ 友愛訪問

今井・岡谷・下浜・小尾口・上浜・西堀・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・横川

⑨ 家庭介護者の集い事業

平成28年11月8日(火)	高橋まゆみ人形館・斑尾高原の旅	参加者 8名(男性1名・女性7名)
平成29年2月23日(木)	清水市三保の松原・河岸の市の旅	参加者 9名(男性3名・女性6名)

⑩ 車いす移送車レンタカー事業 2台使用 利用者 25名 162回

⑪ 車いす貸出し事業（介護保険適用以外） 個人40名 40台・2団体 8台

⑫ 福祉機器リサイクル事業（再掲）

(2) 介護保険事業・障がい福祉サービス事業の充実

① 居宅介護支援事業所（介護支援専門員による支援計画策定等）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要介護1・2	1,231名	102名	4名増
要介護3・4・5	632名	52名	2名増
介護支援専門員1人当たり（常勤換算5.5名）		28名	5名増
新規利用者数(28年度中)		46名	4名減

② 介護予防支援業務（市受託事業）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要支援1・2	552名	46名	3名増
介護支援専門員1人当たり（常勤換算5.5名）		8名	1名増
新規利用者数(28年度中)		17名	9名増

少しづつではあるが利用者数が伸びてきている。また特定相談事業も安定してきており、ケースの移行などによりケアマネ1名あたりの件数も大幅に増加した。今後は事業所内の研修体制などの強化を行い事業所加算の取得を目指していく。

③ 特定相談支援事業（障がい福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
68名	4名減	55件	7件減	133件	3件減

④ 障害児相談支援事業（障がい福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
11名	7名増	9件	3件増	16件	4件増

新しく始めた事業で、前年度急激に件数も増えたため、新規の利用者を抑えてきたところもあるが、システムの導入などにより事業も安定してきたため、今後も積極的に利用者の受け入れをしていく。

⑤ 二次予防事業 訪問型介護予防（市受託事業） 本年度利用者なし

⑥ 訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）

ア 訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
要介護1～5	791名	66名	60名増	
新規利用者数(28年度中)		15名	3名増	
サービス区分	延べ派遣回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)
身体介護	3,424回	285回	2,580時間	618時間減
身体・生活	2,816回	235回	3,618時間	763時間増
生活援助	3,061回	255回	2,767時間	351時間増
乗降介助	126回	11回	43時間	2時間減
自費利用	569回	47回	340時間	88時間減
合計	9,996回	833回	9,348時間	406時間増

イ 介護予防訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
	303名	25名	31名増	
新規利用者数(28年度中)		9名	4名増	
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)
介護予防Ⅰ	790回	66回	752時間	114時間増
介護予防Ⅱ	729回	61回	690時間	64時間減
介護予防Ⅲ	124回	11回	146時間	83時間減
合計	1,643回	138回	1,588時間	33時間減

ウ 障がい福祉サービス事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
	456名	38名	26名増 ※移動支援含む	
新規利用者数(28年度中)		12名	3名増	
自立支援給付	延べ回数	月平均	派遣時間	前年比(時間)
重度訪問介護	113回	9回	244時間	79時間増
重度訪問介護(移動介護のみ)	35回	3回	59時間	26時間増
身体介護	530回	44回	641時間	158時間増
家事援助	1,314回	109回	1,330時間	671時間減
通院介助(身体介護あり)	0回	0回	0時間	63時間減
通院介助(身体介護なし)	38回	0.6回	89時間	70時間増
同行援護(身体介護伴う)	2回	0.1回	5時間	1時間増
同行援護(身体介護伴わず)	310回	26回	735時間	86時間増
移動支援(身体介護伴う)	58回	5回	183時間	149時間増
移動支援(身体介護伴わず)	173回	14回	202時間	
合計	2,573回	211回	3,488時間	165時間減

要介護・要支援、障害サービス共に、新規利用者が増えてきている。スポーツ観戦等の外出支援など新たなサービスが増えてきている中、更なる利用者の確保に向け、ホームヘルパーの確保など体制の整備が急務である。

エ 実費利用支援サービス事業

⑦ 就労継続支援B型事業所「ひだまり作業所」

開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	242日
延べ年間通所者数	2,605名 (見学・お試し利用人数等除く)
1日平均通所者数	10.8名
年間在籍通所者実数	17名(男性 10名 女性 7名)
市町村別内訳	岡谷市 14名 下諏訪町 2名 茅野市 1名
28年度新規通所者	4名
28年度通所者移行先	1名(A型就労へ移行)
28年度通所希望見学者	9名 / 延べ体験日数 46日
28年度開催行事	カラオケ大会・いちご狩り・防災訓練(春・秋)・焼肉会 ボウリング大会・ランチバイキング・チラシ寿司会等

27年8月開始以来、利用者も増加しているが、体調不良などによる欠席が多く、一日平均で10名程度に留まっている、今年度に入り職員の増員も行い行事等も増やすなど、新たな利用者の確保を目指す。

(3) 子育て支援サービスの充実

① 産後ママサポート事業（市受託事業）

登録訪問員	派遣世帯数	派遣回数	派遣時間
8名	2世帯	20回	55時間

② 育児ファミリーサポートセンター事業（保育/市受託事業）

提供会員	33名	利用会員	710名				
個人	件数	43件	内容	保護者の病気時、研修、習い事等			
	時間	134時間					
複数 預かり	件数	268件	延提供会員数	860名	内容	講演会、講習会、研修会等	
	時間	640時間					

提供会員を対象とした研修会を開催し(6回)、サービスの向上を図った。

- ③ ひとり親家庭福祉事業への助成と援護活動
- ④ 児童遊園地の新設、遊具等の整備助成事業
- ⑤ 親子福祉体験事業（再掲）

(4) 安全・安心な市民生活をサポートするサービスの充実

① 友愛訪問事業（再掲）

② 戦没者慰霊事業 遺族会へ補助 16万円

③ 罹災者に対する見舞事業

市社協見舞金	半壊 1件 10,000円	半焼 1件 10,000円
県共募見舞金	半壊 1件 10,000円	半焼 1件 10,000円

④ 災害ボランティアの事前登録

⑤ 災害ボランティアコーディネーターの養成

防災とボランティアパークにおいてボランティアコーナー設置と炊き出し

⑥ 県内社協災害時相互応援協定・諏訪ブロック社協における相互応援協定 諏訪圏青年会議所との災害時協力協定による体制整備

⑦ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金（再掲）

⑧ 生活困窮者サポート事業

ア 貸付に関する相談

相談件数（本人来所、窓口対応）	14件
-----------------	-----

貸付に関する相談を通して、家計相談や貸付金等の事業も視野に入れ、関係機関と連携し、相談者の生活の自立を支援する活動に取り組んだ。

イ 食品等の払い出し

お米の支給	1件 2kg
-------	--------

貸付相談者、日常生活自立支援事業利用者、生活困窮世帯への緊急的支援として、貸付と併用して、お米を支給した。

⑨ 助け合い資金貸付事業（市社協単独事業）

貸付人員	13名 13件	349,480円
償還取扱件数	12名 40件	183,000円
償還未納金額	18名	614,480円

生活保護受給のつなぎ資金を中心に貸付を行った。滞納者に継続して連絡を取り、相談する中で、小額ずつでも償還するよう促し、滞納額を減らすことができた。

⑩ 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

貸付を行うだけでは解決しない複数の生活課題を抱えているケースが多くなってきており、貸付には至らなかったが、相談を受ける際、丁寧な聞き取りを行い、生活保護、就労支援担当と連携し、自立につながるよう努めた。

⑪ 生活改善事業への協力

(5) 健康の保持増進

- ① 高齢者の社会参加促進事業（再掲）
- ② 生きがいデイサービス事業（再掲）
- ③ ふれあいの仲間づくり事業（再掲）
- ④ ふれあいいきいきサロン事業（再掲）

基本目標 4 社会福祉協議会の基盤を強化する

(1) 組織の強化

- ① 社会福祉協議会役職員の研修
- ② 地域福祉活動計画の点検・評価
- ③ 市社会福祉大会の開催（再掲）
- ④ 県社会福祉大会への参加（長野市/再掲）
- ⑤ 地区社協会長等視察研修 平成28年11月10日・11日 岐阜県恵那市まめに暮らそまい会
地区社協会長等29名の参加をいただき、NPO法人 まめに暮らそまい会の事業概要、中野方地区における福祉のまちづくり活動についての話しを聞き、地域福祉活動の見識を深める研修となった。
- ⑥ 社会福祉法人制度改革への対応
29年4月1日より施行される改正社会福祉法に準拠するため、定款変更、規程の制定、改正を行い、組織強化を図った。

(2) 財源の強化

① 岡谷市社会福祉協議会会費

会費収納説明会の開催	平成28年6月16日(木)	大会議室	区長・地区社協会長等
収納状況			
一般会費(1世帯 1,000円)	9,287件	9,269,700円(前年度 9,253件	9,230,025円)
賛助会費(1口2,000円以上)	4,461件	9,293,500円(前年度 4,622件	9,621,500円)
合計	13,748件	18,563,200円(前年度 13,875件	18,851,525円)

② 赤い羽根共同募金運動

募金方法	件数	実績額(円)	備考
戸別募金	13,623	15,365,393	
街頭募金	2	139,915	
法人募金	2	230,000	事業所大口
学校募金	8	58,157	小学校 6・中学校 1・高校 1
その他募金	29	1,280,893	
合計	13,664	17,074,358	前年度13,757件 17,234,647円

③ 岡谷市社会福祉協議会基金及び積立金

福祉基金	251,713,527円	準備基金	8,591,351円
ボランティア及び災害活動者遺児育英資金			9,478,066円
経営安定化積立金			44,950,296円

地域福祉推進を目的とし組織及び体制強化のため、福祉基金の一部を取り崩し経営安定化積立金を創設した。

④ 物品寄付の受付 60件

使用済み切手	51件	車いす	2件
タオル類	3件	生ごみ処理機	1件
介護用品	2件	マッサージ機	1件

ご寄付いただいた物品は、必要とする施設や機関、利用者等へ払出し、それぞれに活用した。